

## 「初夏の森散歩&地引網体験」

- 1 日 時：平成30年5月27日（日）  
8：30～13：30
- 2 場 所：あわら市波松（波松の民有林）
- 3 参加者：78人（大人37人、子ども41人）
- 4 指導者：河田勝治氏（あわらの自然を愛する会）
- 5 主 催：福井県里山里海湖研究所  
共 催：あわらの自然を愛する会

### 【イベントの様子】

初夏らしい晴天の中、元気いっぱい子どもたちと保護者、一般の方々が集まりました。（78名）波松海岸はうねりもなく網を入れることができました。気温が高いということで、急遽、「地引網体験」と「初夏の森散歩」の順番を入れ替え、先に地引網体験を行いました。ほとんどの参加者が「地引網」は初めてだということで、とれた魚を見て歓声が上がっていました。魚は70尾以上とれました。次に波松の民有林を散策しました。気温は高いのですが、木陰は涼しく、過ごしやすい環境の中、河田氏の里山や竹に関するお話に、参加者は耳を傾けていました。再び、波松海岸にもどり、「鯛の味噌汁」と「握り飯」でお昼の一時を過ごしました。次にまめひょこ（スナホリガニ）つかみを行いました。昔はまめひょこ（スナホリガニ）が浜にたくさんいたのですが、現在では少なくなったそうです。子どもたちも保護者も膝まで海水につかりながら、まめひょこを探してつかまえていました。最後に波松海岸のテントの中で「ビーチクラフト」を行いました。貝殻や石、ガラス（びんのかげら）などをボンドで木の板に張り付け、マジックで着色し、思い思いの作品を作っていました。帰りには、「地引網体験」でとれた魚（鯛など）を2尾ずつお土産に持って帰ってもらいました。





